

学校と地域の連携・協働研修会

職員研修

有志指導者研修

要請研修

「地域学校協働活動とコミュニティ・スクールとの一体的推進の意義について学ぶ」「『地域とともにある学校づくり』『学校を核とした地域づくり』の両面から、学校と地域の連携・協働について理解を深める」ことを目的として、学校関係者、地域学校協働活動推進員・地域コーディネーター、県・市町村の行政担当者等、92名が受講しました。

【実践発表・パネルディスカッション】



【志田 知美 氏】



【佐々木 一樹 氏】



【金野 侑 氏】



【パネルディスカッションの様子】

午前は、3つの事例発表がありました。大船渡市立立根小学校 校長 志田 知美 氏からは、「学校運営協議会の導入と地域学校協働活動」について、遠野市教育委員会生涯学習スポーツ課 主任兼社会教育主事 佐々木 一樹 氏からは、「『熟議体験』の実践から見えてきた学校と地域連携・協働に向けた有効性と課題」について、宮古市立第一中学校地域学校協働本部 地域学校協働活動推進員 金野 侑 氏からは、「学校と地域のつながりかた～宮古第一中学校の場合～」について発表をしていただきました。

午後は、国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部 総括研究官 志々田 まなみ 氏をコーディネーターとして、「『育てたい子ども像』を共有して推進する学校と地域の連携・協働」をテーマにパネルディスカッションを行いました。パネリストの方々の話を深掘りした内容で、コミュニティ・スクール導入の実際や地域と学校の連携・協働に関する具体的な取組を聞くことができ、実践発表の内容についてさらに理解を深めることができました。

【講演】

パネルディスカッションに引き続き、志々田 まなみ 氏から「地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進」と題してご講演いただきました。コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）（CS）と地域学校協働活動との役割の違いについて、また、CSで協議する内容等の説明がありました。様々な調査によるデータや資料、活動例をもとに、CSと地域学校協働活動との一体的推進の意義や推進にあたってのポイントなどを分かりやすくご指導いただきました。2つの機能的な違いを意識した一体的推進は、持続可能な仕掛けとしてとても重要であることを学ぶことができました。



【志々田 まなみ 氏】

《受講者の声》

- ・それぞれの現場での実践を学ぶことができた。内容が具体的でとても分かりやすかった。
- ・CS 初年度、初めての運営でよく見えないところだったので、今回の研修はとても有難かった。自校での実践に向けてとても勇気をもらった。
- ・「毎年が試行の年」というのがとても安心できた。一步一步着実によいものにしていきたい。
- ・講師の方々一人ひとりの熱意が伝わってくる研修だった。コミュニティ・スクールに関してどのように地域と学校を繋いでいけばよいか、今回の研修を参考に模索していきたい。

《受講者の評価》

A（有意義）	85.5%
B（どちらかといえば有意義）	13.3%
C（どちらかといえば有意義でない）	1.2%
D（有意義でない）	0%

《担当者（平澤）から》

学校と地域の連携・協働についてそれぞれ異なる立場の方からお話があり、具体的な取組を知ることができました。学校と地域で目標とビジョンを共有し、学校運営のさらなる充実や地域の活性化に活かしていただきたいと思います。